

景況感の改善テンポにやや一服感

—— 第155回企業経営動向調査より ——

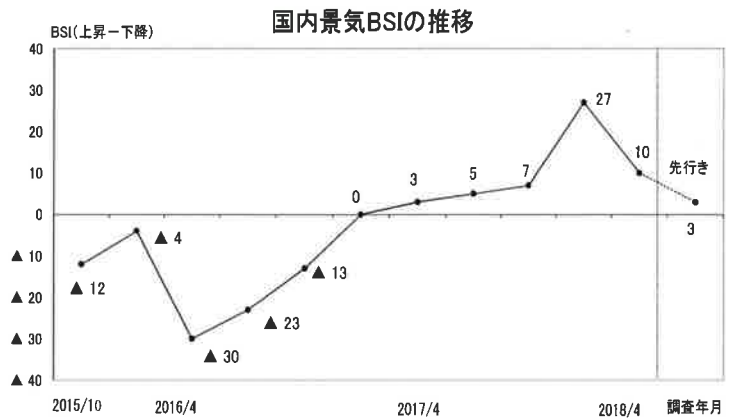
埼玉県内の企業を対象に4月中旬に実施したアンケート「第155回企業経営動向調査」(対象企業965社: 回答企業数: 231社、回答率: 23.9%)によると、景況感の改善にやや一服感がでてい

最近(2018年4月中旬)の国内景気に対する見方は、「上昇」16%、「下降」6%で、BSI(「上昇」-「下降」の企業割合)は+10となり、前回調査(2018年1月)の+27から17ポイントの悪化となった。

前回調査では株価の上昇などもあり、大幅な改善となったが、今回調査では天候不順の影響や一部生産の弱含みなどもあり、改善テンポにやや一服感が出ている。ただ、BSIの水準は依然高く、5期連続でプラスとなっている。

(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」14%、「下降」11%で、BSIは+3と現状から7ポイントの悪化となった。景気の先行きについてやや慎重な見方もでていますが、BSIは引き続きプラスであり、景気は回復基調が続くとの見方が多い。



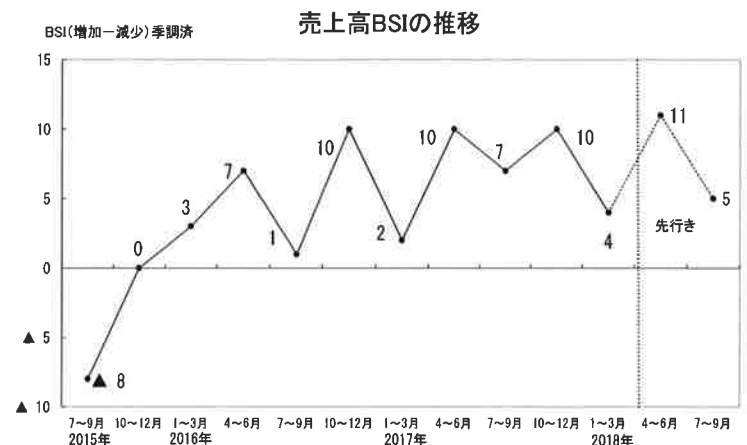
2018年1~3月期の売上高は、季調済BSI(「増加」-「減少」の企業割合、季節調整済)が+4となり、前回調査対象期間(2017年10~12月期)の+10から6ポイントの悪化となった。

売上高のBSIは前回調査では改善となったが、今回調査では悪化となった。このところBSIは、改善、悪化を繰り返す動きとなっているが、9期連続でプラスを維持しており、景気の緩やかな回復基調が続くなか、売上高の増加が続いている。

(先行き)

先行きについては、4~6月期のBSIが+11、7~9月期は+5となり、現状に比べ、改善を見込んでいる。

(照会先: 吉嶺)



1. 景況判断

(1) 国内景気

(現 状)

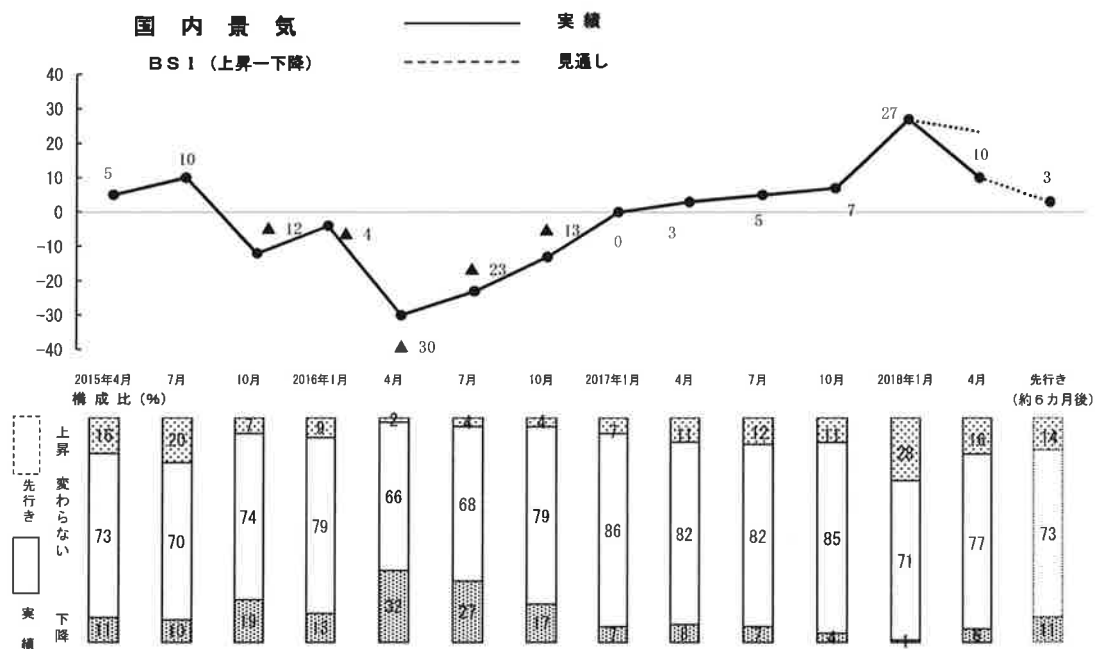
最近（2018年4月中旬）の国内景気に対する見方は、「上昇」16%、「下降」6%で、BSI（「上昇」－「下降」の企業割合）は+10となり、前回調査（2018年1月）の+27から17ポイントの悪化となった。前回調査では株価の上昇などもあり、大幅な改善となったが、今回調査では天候不順の影響や一部生産の弱含みなどもあり、改善テンポにやや一服感が出ている。ただ、BSIの水準は依然高く、5期連続でプラスとなっている。

業種別にみると、製造業はBSI +11で前回調査の+30から19ポイントの悪化、非製造業は+9で前回調査の+25から16ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「上昇」14%、「下降」11%で、BSIは+3と現状から7ポイントの悪化となった。景気の先行きについてやや慎重な見方もでているが、BSIは引き続きプラスであり、景気は回復基調が続くとの見方が多い。

業種別では、製造業はBSI 0で現状から11ポイントの悪化、非製造業は+5で4ポイントの悪化となった。



(2) 業界景気

(現 状)

最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」11%、「下降」14%で、BSIは▲3となり、前回調査の+8から11ポイントの悪化となった。

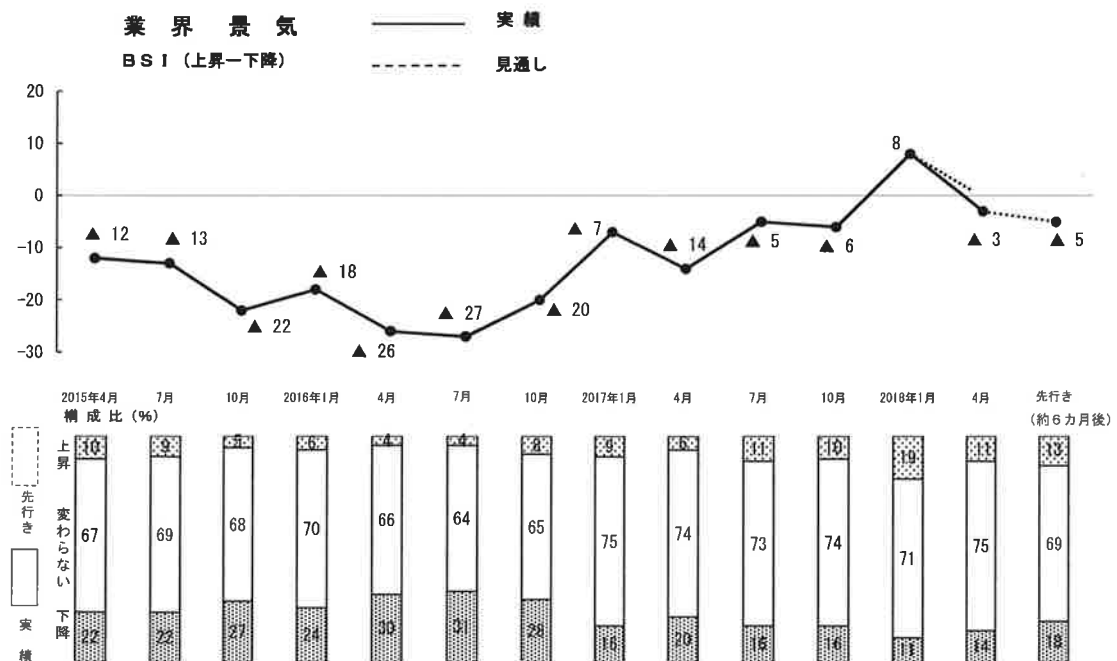
業界景気の見方は前回調査では大きく改善し、BSIは2014年4月以来、3年9カ月ぶりにプラスとなったが、今回調査では再びマイナスとなった。業界景気については国内景気に比べ、厳しい見方をするところが多い。

業種別にみると、製造業はBSI +2で前回調査の+10から8ポイントの悪化、非製造業は▲5で前回調査の+7から12ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては「上昇」13%、「下降」18%で、BSIは▲5と現状から2ポイントの悪化となった。業界景気の先行きについては、「悪化」とするところが増えており、慎重な見方となっている。

業種別では、製造業はBSI ▲3で現状から5ポイントの悪化、非製造業は▲6で1ポイントの悪化となった。



(3) 自社業況

(現 状)

最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業28%、「悪い」とする企業8%で、BSI（「良い」－「悪い」の企業割合）は+20となり、前回調査の+28から8ポイントの悪化となった。

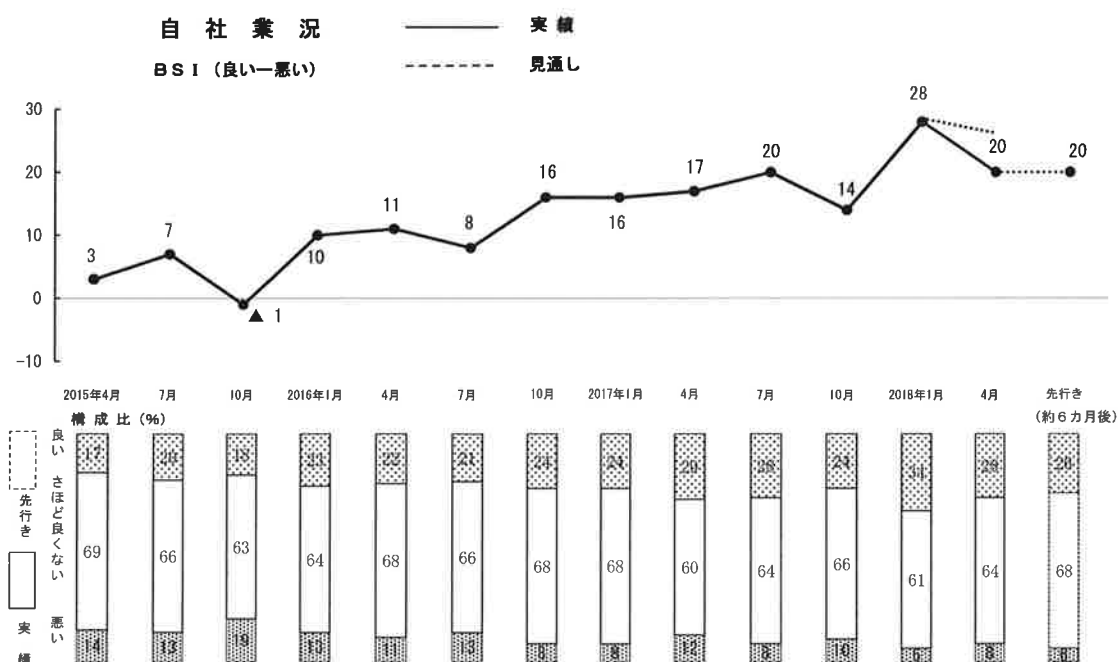
国内景気と同様に前回調査で大幅に改善し、今回調査ではやや一服感がでていいる。ただ、BSIの水準は高く、自社業況については、引き続き「良い」とするところが多い。

業種別にみると、製造業はBSI +17で前回調査の+25から8ポイントの悪化、非製造業は+22で前回調査の+31から9ポイントの悪化となったが、BSIの水準は製造業・非製造業ともに高い。

(先行き)

先行きについては「良い」とする企業26%に対し、「悪い」とする企業は6%、BSIは+20と現状から横ばいとなった。国内景気、業界景気については、先行き慎重な見方をするところが多いのに対し、自社業況については「良い」とするところが多い。

業種別では、製造業はBSIが+24で現状から7ポイントの改善、非製造業は+18で4ポイントの悪化となっている。



(2) 経常利益

(現 状)

2018年1～3月期の経常利益は、季調済BSIが▲4となり、前回調査対象期間（2017年10～12月期）の+6から10ポイントの悪化となった。BSIは前回調査で改善したが、今回悪化となった。

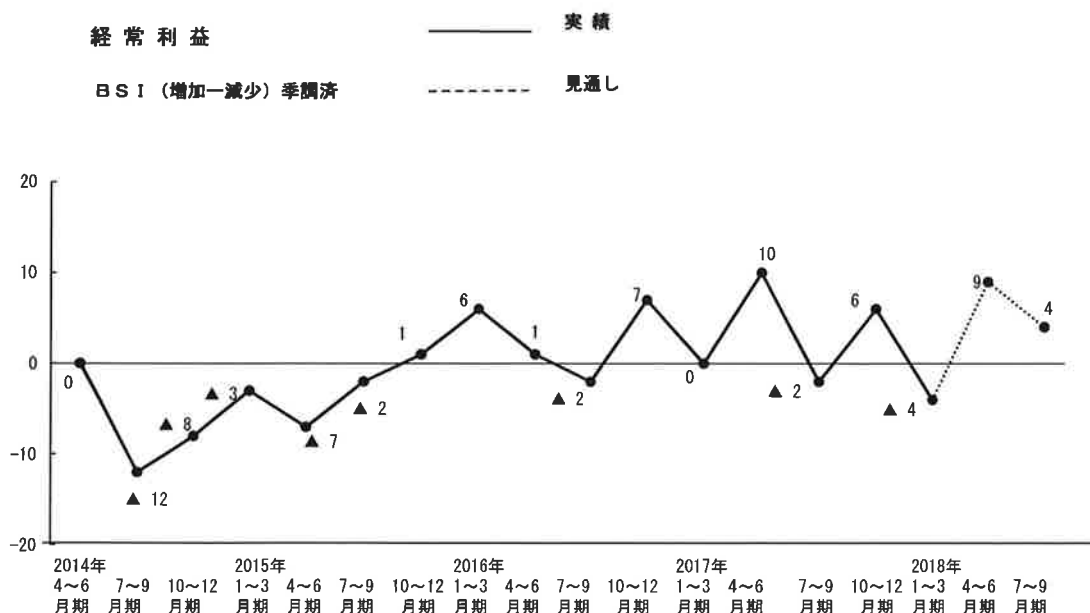
減少の要因（複数回答）としては、「売上・受注の不振」をあげるところが73%で最も多い。次いで「仕入単価の上昇」34%、「人件費の上昇」24%などとなっている。売上・受注の不振に加え、仕入単価の上昇を上げる企業が多くなっており、コストの上昇により利益が圧迫されているところも多いようだ。

業種別にみると、製造業はBSI +6で前回調査の+15から9ポイントの悪化、非製造業は▲6で前回調査の0から6ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、4～6月期のBSIが+9、7～9月期は+4となり、先行きについては改善を見込んでいる。

業種別では、製造業が1～3月期、4～6月期、7～9月期に+6→+12→+4、非製造業では▲6→+5→+3となっている。



(3) 設備投資

(現 状)

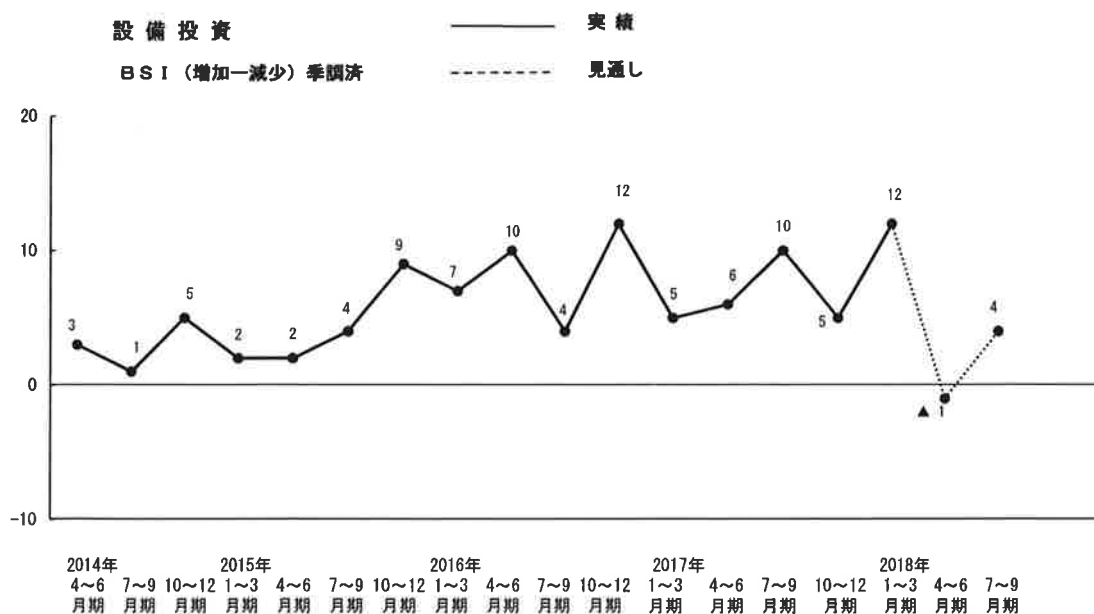
2018年1～3月期の設備投資は、季調済BSIが+12となり、前回調査対象期間（2017年10～12月期）の+5から7ポイントの改善となった。設備投資のBSIは2013年4～6月期以降プラスが続いている。

業種別にみると、製造業はBSI +20で前回調査の+14から6ポイントの改善、非製造業は+9で前回調査の▲2から11ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては、4～6月期のBSIが▲1、7～9月期は+4となっており、慎重な姿勢もみられる。

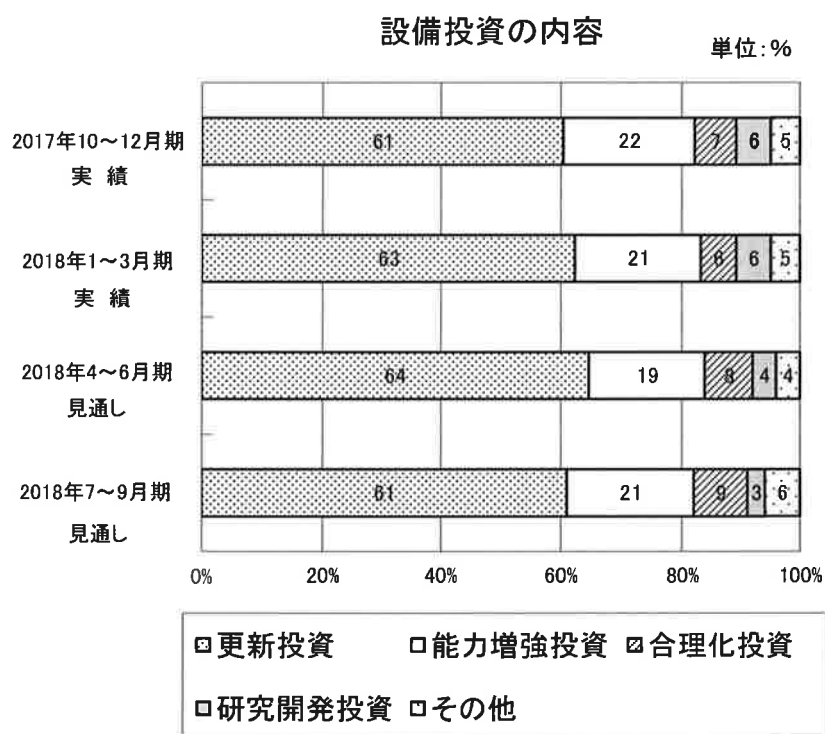
業種別では、製造業が1～3月期、4～6月期、7～9月期に+20→▲3→+5、非製造業では+9→0→+3となっている。



＜設備投資の内容＞

設備投資の内容については、2018年1～3月期は「更新投資」が63%、「能力増強投資」21%、「合理化投資」6%、「研究開発投資」6%などとなった。2017年10～12月期と比べると「能力増強投資」が2ポイント増加し6割以上となっており、設備投資は「更新投資」中心の状況が続いている。

4～6月期、7～9月期の見通しについても、引き続き「更新投資」の割合が6割以上と高く、設備投資は「更新投資」中心の状況が続く見込み。



(4) 雇 用

(現 状)

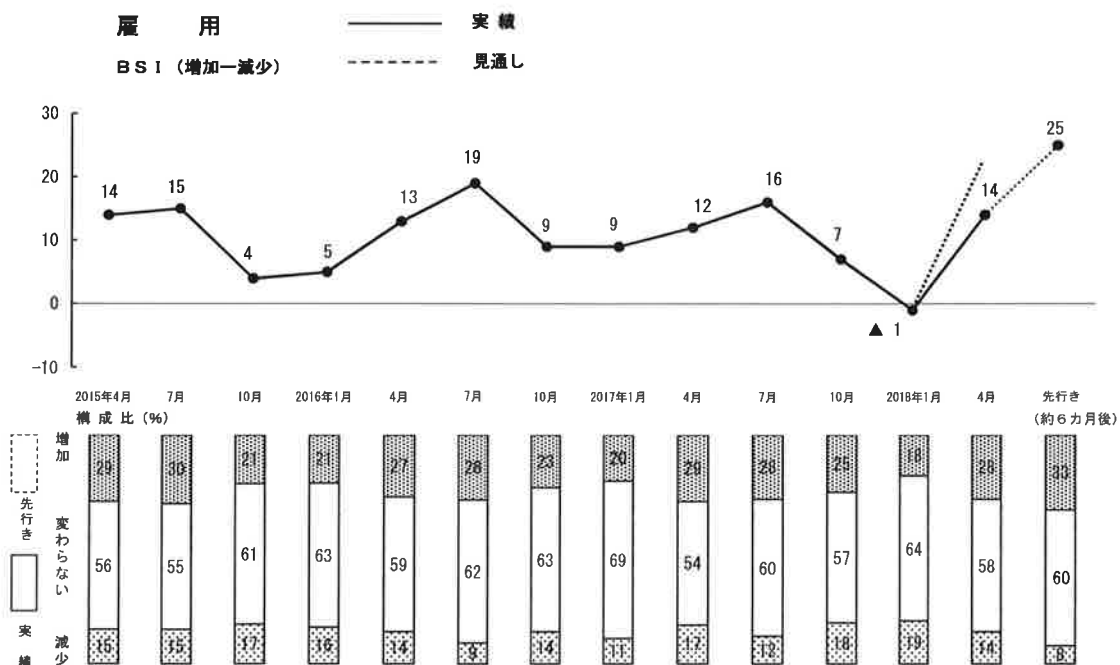
最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は28%、「減少」とした企業は14%で、BSIは+14と前回調査の▲1から15ポイントの改善となった。例年4月調査は新卒者の採用もあり、雇用のBSIは高くなるが、3割近くの企業で「増加」としており、雇用は増加している。

業種別にみると、製造業はBSI +23で前回調査の▲3より26ポイントの改善、非製造業は+9で前回調査の0より9ポイントの改善となっている。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が33%、「減少」とする企業が8%でBSIは+25と現状から11ポイントの改善となった。先行きについても、「増加」とするところが多くなっており、雇用は当面改善が続く見込み。

業種別では、製造業はBSI +37で現状から14ポイントの改善、非製造業は+19で10ポイントの改善となっている。



(5) 設備操業度 (製造業)

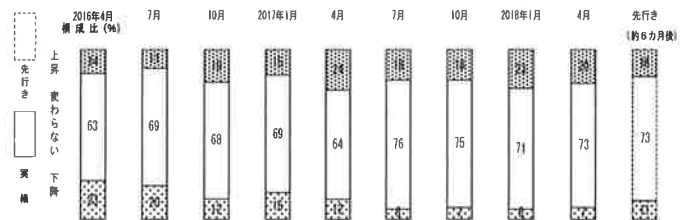
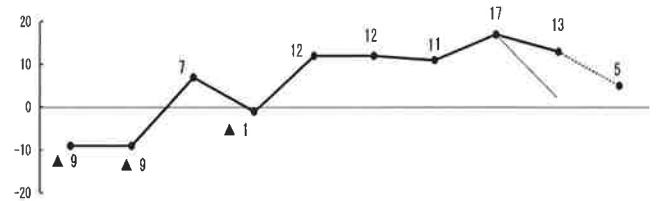
(現 状)

最近 (ここ6カ月間) の設備操業度は、「上昇」20%、「下降」7%でBSI (上昇-下降) は+13と、前回調査の+17から4ポイントの悪化となった。設備操業度のBSIは、このところ概ね横ばいの動きが続き、5期連続でプラスを維持している。

(先行き)

先行き (約6カ月後) については、「上昇」16%、「下降」11%となり、BSIは+5と現状より8ポイントの悪化となっている。

設備操業度 ——— 実績
BSI (上昇-下降) - - - - 見直し



(6) 在庫水準 (製造業)

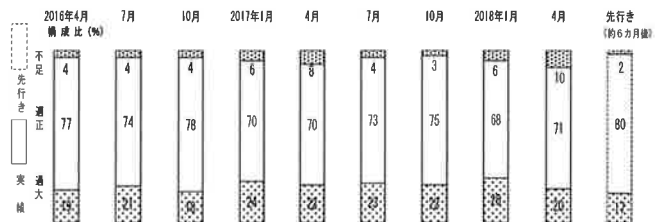
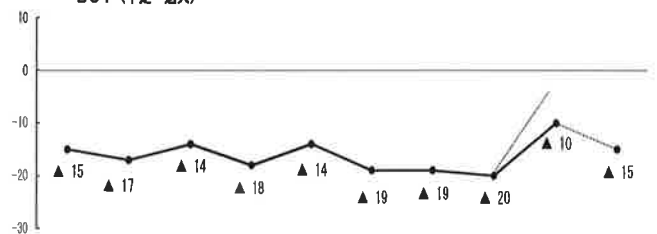
(現 状)

最近の在庫水準は「不足」10%、「過大」20%でBSI (不足-過大) は▲10と前回調査の▲20から10ポイントの改善となった。在庫水準については、引き続き「過大」とするところが多いが、「不足」とするところも増えている。

(先行き)

先行きについてはBSIが▲15と、現状より5ポイントの悪化となった。先行き在庫が「適正」とする企業は80%となっており、在庫は適正とする企業が多い。

製商品の在庫水準 ——— 実績
BSI (不足-過大) - - - - 見直し

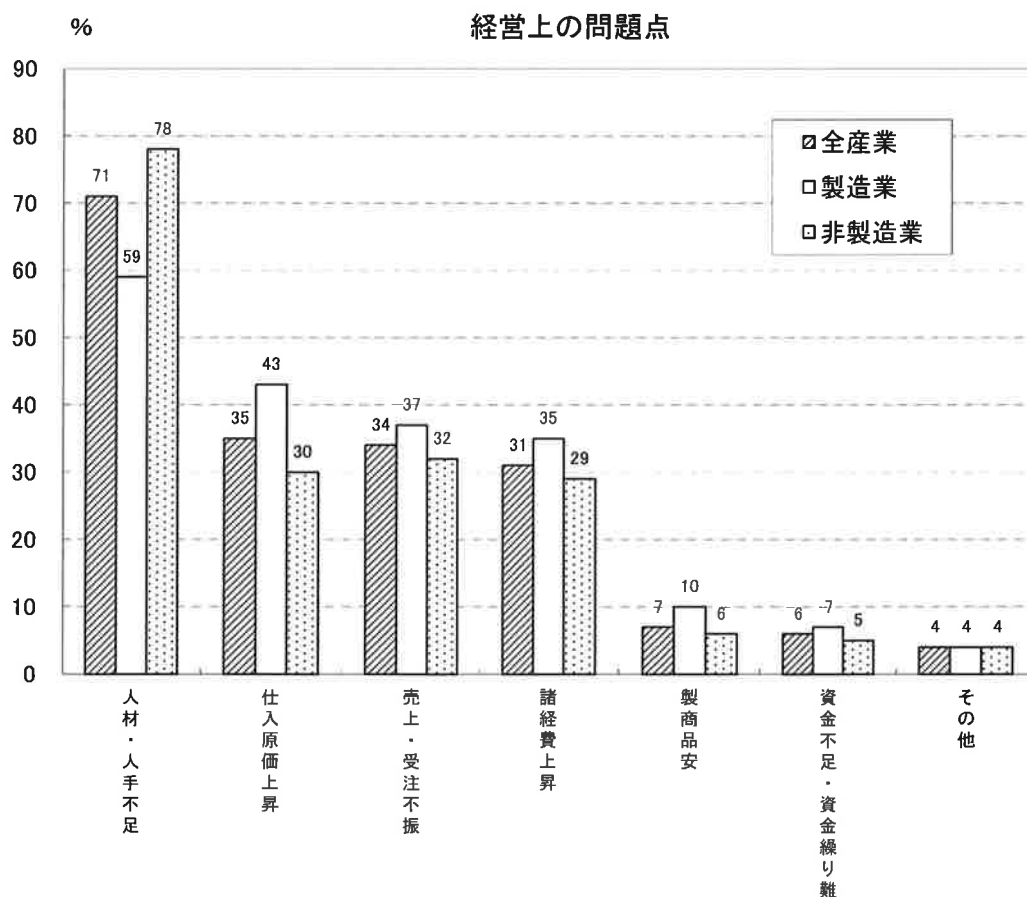


3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「人材・人手不足」が71%と最も多かった。次いで「仕入原価上昇」35%、「売上・受注不振」34%、「諸経費上昇」31%、「製商品安」7%、「資金不足・資金繰り難」6%などとなった。

前回調査と比べると、「人材・人手不足」が12ポイント増加し、引き続き高い比率となっている。また、「仕入原価上昇」、「諸経費上昇」がそれぞれ3ポイント増加しており、コスト面の問題を上げるところが増えている。

業種別にみると、製造業では「人材・人手不足」59%が最も多く、次いで「仕入原価上昇」43%、「売上・受注不振」37%、「諸経費上昇」35%と続く。非製造業では「人材・人手不足」78%が最も多く、次いで「売上・受注不振」32%、「仕入原価上昇」30%、「諸経費上昇」29%となっている。



付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し	2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し	2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し
		全産業	27	10	3	8	▲ 3	▲ 5	28	20
製造業	30	11	0	10	2	▲ 3	25	17	24	
食料品	20	0	▲ 13	▲ 10	0	▲ 25	10	12	25	
繊維	33	0	▲ 50	0	0	▲ 50	0	50	50	
化学	25	14	14	25	14	0	50	43	43	
窯業・土石	33	0	0	0	0	0	33	50	50	
鉄鋼	100	100	100	0	0	100	▲ 100	▲ 100	0	
非鉄金属	50	33	33	50	33	33	50	50	50	
金属製品	50	20	20	25	▲ 20	0	25	40	20	
一般機械	33	25	0	16	25	0	50	50	50	
電気機械	40	27	18	20	18	18	20	18	27	
輸送機械	27	20	0	27	20	7	36	▲ 7	7	
精密機械	50	0	▲ 25	25	▲ 25	0	0	25	50	
木材木製品	0	0	▲ 50	0	0	▲ 50	0	▲ 50	▲ 50	
紙・紙加工品	▲ 25	▲ 100	0	▲ 25	▲ 100	0	50	100	100	
印刷	0	▲ 40	▲ 40	▲ 75	▲ 80	▲ 80	▲ 25	▲ 40	▲ 40	
その他	33	0	▲ 9	17	0	0	33	18	27	
非製造業	25	9	5	7	▲ 5	▲ 6	31	22	18	
卸売	13	3	4	8	▲ 25	▲ 14	39	10	11	
小売	16	▲ 13	▲ 7	▲ 32	▲ 29	▲ 29	0	▲ 12	▲ 12	
建設	36	9	▲ 5	16	0	▲ 9	20	22	14	
不動産	45	0	▲ 11	27	▲ 11	0	36	33	22	
運輸・倉庫	25	21	16	17	16	5	58	32	16	
電気・ガス	14	14	14	14	0	0	43	43	43	
情報通信	40	25	0	40	50	25	40	50	50	
飲食店・宿泊	14	25	0	0	0	50	43	25	50	
サービス	29	17	14	7	0	▲ 3	32	31	29	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)						経常利益 (増加-減少)					
	原数値			季調値			原数値			季調値		
	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月
	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し
全産業	5	2	6	4	11	5	0	▲1	2	▲4	9	4
製造業	3	2	8	2	10	5	6	1	4	6	12	4
食料品	▲63	12	▲38	▲36	24	▲37	▲25	25	▲12	3	37	▲2
繊維	0	0	▲50	14	▲47	▲61	0	0	0	17	▲30	▲23
化学	15	0	29	7	8	21	33	16	16	31	24	14
窯業・土石	▲50	▲50	50	▲17	▲27	25	▲50	▲50	50	▲22	▲20	45
鉄鋼	100	100	100	86	100	94	▲100	100	0	▲58	47	47
非鉄金属	33	33	50	11	44	37	33	33	16	9	32	17
金属製品	60	▲60	20	51	▲14	9	80	▲60	20	71	▲13	▲4
一般機械	50	▲25	25	15	2	19	50	▲25	25	10	6	15
電気機械	19	9	9	19	30	5	9	0	0	10	11	▲2
輸送機械	▲20	0	27	▲9	▲5	10	▲27	0	27	▲20	2	9
精密機械	75	▲25	▲21	63	7	11	100	▲25	▲50	68	▲3	▲8
木材木製品	50	0	▲50	9	30	▲52	0	0	0	▲38	65	5
紙・紙加工品	▲100	100	100	▲39	64	87	▲100	100	100	▲39	73	84
印刷	▲20	▲20	▲80	-	-	-	▲20	▲20	▲100	-	-	-
その他	▲18	27	18	▲23	11	25	0	9	9	▲6	10	12
非製造業	7	1	6	7	11	6	▲3	▲1	0	▲6	5	3
卸売	0	▲4	7	14	7	12	▲4	▲7	▲4	0	▲1	1
小売	35	▲41	0	21	▲10	▲3	6	▲35	0	▲21	6	▲1
建設	36	▲13	9	25	6	2	22	▲14	13	12	7	8
不動産	0	0	0	▲16	8	▲1	▲11	11	▲33	▲14	20	▲17
運輸・倉庫	▲26	37	10	▲5	38	18	▲21	26	5	▲12	14	8
電気・ガス	57	▲57	▲43	-	-	-	28	▲43	▲43	-	-	-
情報通信	50	25	25	-	-	-	25	25	25	-	-	-
飲食店・宿泊	▲100	75	50	-	-	-	▲100	50	50	-	-	-
サービス	▲3	17	6	1	18	3	▲11	9	0	▲13	7	2

業種 期別	設備投資 (増加-減少)						雇用 (増加-減少)		
	原数値			季調値			2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し
	2018年 1~3月 実績	2018年 4~6月 実績見込み	2018年 7~9月 見通し	2018年 1~3月 実績	2018年 4~6月 実績見込み	2018年 7~9月 見通し			
全産業	13	▲4	7	12	▲1	4	▲1	14	25
製造業	19	▲5	8	20	▲3	5	▲3	23	37
食料品	▲12	▲12	▲12	▲18	▲11	0	0	0	38
繊維	0	0	0	13	4	▲13	▲33	0	0
化学	43	0	43	45	1	44	0	57	29
窯業・土石	50	▲100	0	76	▲96	5	33	0	0
鉄鋼	0	0	100	▲6	10	100	▲100	100	0
非鉄金属	▲16	67	33	▲4	68	22	0	20	60
金属製品	20	60	▲40	11	83	▲31	25	▲20	80
一般機械	50	0	25	60	▲22	44	0	50	50
電気機械	▲9	▲27	▲9	3	▲24	▲22	▲20	9	18
輸送機械	60	▲20	7	54	▲21	▲3	20	36	14
精密機械	25	0	25	34	▲10	10	▲25	▲50	50
木材木製品	0	0	0	▲14	▲2	▲6	▲100	▲50	100
紙・紙加工品	100	▲100	0	84	▲92	▲1	0	100	0
印刷	20	▲20	0	—	—	—	▲25	0	25
その他	0	0	18	7	▲4	15	9	67	58
非製造業	11	▲4	6	9	0	3	0	9	19
卸売	4	▲16	▲12	▲10	▲10	▲21	13	14	25
小売	▲13	▲13	▲7	▲24	▲4	▲16	▲26	0	12
建設	5	0	5	5	5	7	13	29	19
不動産	13	38	25	13	25	24	▲9	▲22	25
運輸・倉庫	47	▲21	21	6	▲2	▲13	42	32	42
電気・ガス	15	▲14	▲14	—	—	—	0	15	29
情報通信	25	25	50	—	—	—	▲20	50	50
飲食店・宿泊	25	▲50	25	—	—	—	▲43	▲75	0
サービス	3	12	9	8	10	▲2	▲4	▲2	0

業 種	項 目 期 別	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
		2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し	2018年 1月 前回調査	2018年 4月 今回調査	2018年 9月まで 見通し
		全 産 業	-	-	-	-	-
製 造 業	17	13	5	▲ 20	▲ 10	▲ 15	
食 料 品	10	25	38	▲ 20	13	0	
織 維	33	0	0	▲ 67	0	▲ 50	
化 学	40	29	0	40	14	0	
窯 業・土 石	0	0	0	0	0	0	
鉄 鋼	0	0	0	0	0	0	
非 鉄 金 属	67	20	0	0	0	0	
金 属 製 品	50	40	0	▲ 25	▲ 40	▲ 40	
一 般 機 械	20	50	0	0	25	25	
電 気 機 械	20	9	▲ 9	▲ 40	36	▲ 27	
輸 送 機 械	9	7	▲ 7	▲ 27	7	▲ 7	
精 密 機 械	0	▲ 25	0	▲ 25	0	0	
木 材 木 製 品	0	0	0	0	▲ 50	▲ 50	
紙・紙加工品	0	0	0	▲ 25	0	0	
印 刷	0	▲ 50	▲ 25	0	0	0	
そ の 他	9	17	33	▲ 33	▲ 42	▲ 42	
非 製 造 業	-	-	-	-	-	-	
卸 売	-	-	-	-	-	-	
小 売	-	-	-	-	-	-	
建 設	-	-	-	-	-	-	
不 動 産	-	-	-	-	-	-	
運 輸・倉 庫	-	-	-	-	-	-	
電 気・ガ ス	-	-	-	-	-	-	
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-	
飲 食 店・宿 泊	-	-	-	-	-	-	
サ ー ビ ス	-	-	-	-	-	-	

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス（Business Survey Index）の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社（30%）の企業で売上が増加し、50社（10%）の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 平成30年4月中旬

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2018年1～3月期の経営動向及び2018年4～6月期、7～9月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業965社のうち、231社（回答率23.9%）。回答企業の業種別内訳と中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	965	231	100.0	90.9
製 造 業	318	85	36.8	95.3
食 料 品	39	8	3.5	100.0
織 維	12	2	0.9	100.0
化 学	30	7	3.0	100.0
窯 業 ・ 土 石	9	2	0.9	100.0
鉄 鋼	9	1	0.4	100.0
非 鉄 金 属	9	6	2.6	100.0
金 属 製 品	19	5	2.2	100.0
一 般 機 械	35	4	1.7	100.0
電 気 機 械	37	11	4.8	100.0
輸 送 機 械	33	15	6.5	73.3
精 密 機 械	14	4	1.7	100.0
木 材 ・ 木 製 品	9	2	0.9	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	12	1	0.4	100.0
印 刷	27	5	2.2	100.0
そ の 他 製 造	24	12	5.2	100.0
非 製 造 業	647	146	63.2	88.4
卸 売	98	28	12.1	89.3
小 売	88	17	7.4	47.1
建 設	70	22	9.5	100.0
不 動 産	60	9	3.9	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	86	19	8.2	100.0
電 気 ・ ガ ス	14	7	3.0	100.0
情 報 通 信	53	4	1.7	100.0
飲 食 店 ・ 宿 泊	44	4	1.7	75.0
サ ー ビ ス	134	36	15.6	88.9